

令和4年10月24日

令和4年

第10回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和4年10月24日（月曜日）午後2時から

1 出席委員（5名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
北 内 英 章	委 員	

2 出席職員（6名）

教育総務部長	今 井 健太郎
参事（教育施設担当）	河原田 光
教育総務課長	政 木 純 也
学務課長	大 竹 豊 和
指導課長	早 川 隆 之
指導企画担当課長	細 田 真 司

3 日程

日程第1 教育長の報告事項



(午後2時00分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和4年第10回大田区教育委員会定例会を開催いたします。  
なお、深澤委員につきましては、あらかじめ本日欠席の届出がありましたので、ご報告いたします。

本日は傍聴希望者がおります。

委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に北内委員を指名いたします。どうぞよろしくお願いいたします。  
続いて、本日の日程第1について、事務局職員の報告を求めます。

○事務局職員

日程第1は「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

それでは、私から4点報告をさせていただきます。

一つ目は、9月30日に大田区総合体育館で行われた、特別支援学級の連合運動会についてです。コロナ禍のため3年ぶりの開催になりました。

今までは、ふれあいはすぬまのグラウンドで小中学校一斉に開催しておりましたが、今年度は、大田区総合体育館にて午前中が小学生、午後が中学生の2回に分けての開催になりました。子どもたちは、短距離走やダンスなど、一生懸命に取り組んでいました。

特別支援学級の指導の様子を前に見に行っただけですけれども、演技、競技等の指導も丁寧に何回も練習を重ねてやっており、当日の動きについても、一生懸命先生方が指導している様子が伺えました。当日、子どもたちがその力を精一杯発揮して、力いっぱい運動していたのが印象的でした。

大田区総合体育館だと雨の心配がないので、今後はそこでの開催も良いのかなと思われました。近年、特別支援学級については、児童・生徒ともに増加の傾向にあります。それに

応じて、新たな学級の開設等も計画的に行っているところがございます。教育の充実を図っていきたいと思いました。

次に、10月14日には、萩中小学校の研究発表会がありました。これは、理科の教育研究推進校ということで、理科教育の授業の見学や、体育館での発表会がありました。萩中小学校の児童は、随分前からこの理科教育に取り組んでいて、その成果が少しずつ現れてきているのかなと思いました。

研究のテーマは、「予想」です。科学的な思考ということですがけれども、予想を大切に、見通しを持った学習活動を進めていきました。

あと、大変印象に残ったのは、子どもたちが落ち着いて実験、学習に取り組んでいたところです。見通しを持ってしっかりと学習のねらいであるとか、めあてを意識して、その手順も含めて学習していくことが、その学習姿勢につながっていたのかなと思っています。研究が少しずつ積み上げられて、科学に対して興味を持っている子どもたちが育成されているということは、大変嬉しいことだと思います。

また、このように理科教育に取り組んでいるという学校の特色が、学校全体の教育活動に大きな推進力を与えていると思います。区内の多くの学校で、それぞれ特色があるのですけれども、そういう自校の特色を生かしながら校風を作っていくといったことに取り組んでおりますので、本校の研究が、区全体の理科教育の活性化にも繋がってもらえればと思っています。

3点目は、10月17日、18日に、教育委員の皆さんと大田区休養村とうぶの移動教室の視察に行っていました。大森第五小学校がちょうど宿泊ということで、その活動の様子も見させていただき、大変参考になりました。

施設が広々としてゆとりがあって、温泉もあり、体育館、食堂も広く清潔で、非常に良い施設であると思いました。

このコロナ禍の中で宿泊行事というのは、感染のリスクがちょっと心配でもあるのですがけれども、非常に丁寧に対策を取っていただいて、子どもたちが安心して宿泊行事ができる環境ができていたと思っています。

今はコロナウイルスの感染対策のため1泊ということだったのですけれども、従来は2泊行って、自然の中で十分に体験活動をするのは、やはり2泊とか、多くの日数が必要のため、元の状況に戻していくといったことも必要なのかなと思いました。

それから、移動教室でも学校ごとにやり方が異なるのですがけれども、若い先生たちが宿泊行事のねらいであるとか、指導の方法といったことを受け継いでいくことも必要だと思います。このような良い施設を利用した体験学習を、さらに充実させていきたいなと思いました。

最後に、10月22日、千鳥小学校の70周年記念式典がございました。5、6年生が式に参列して、4年生以下は教室にてオンラインで式に参加しました。千鳥小学校は、昭和27年に開校してちょうど70周年ということです。昭和27年というと、羽田空港が返還されて営業を開始した年であり、漫画の鉄腕アトムの連載が始まった年でもあります。

6年生の子どもたちが、開校から戦後の復興とともに学校が歩んできたという歴史を調べて発表していました。

私としては、何で千鳥小学校という校名があるのかなと思いました。それを調べて、子

どもたちにお話しさせていただきました。

久が原から多摩川にかけて、縄文時代はまだ海だったということで、当時の海岸に人が住んでいたため、千鳥貝塚ができたとの話があります。

または、チドリがいっぱい住んでいたという説もあります。はっきりしないのですけれども、千鳥という地名が古くからあって、千鳥小学校という名前になったということが分かりました。

この千鳥小学校では、6年生が全員で太鼓の演奏をしていました。子どもグループがあって、みんなで非常に一生懸命演奏している様子が印象的でした。しっかりとみんなで練習したのだろうと思います。

それから、私が大田区に指導主事として勤めていた当時からの、歴代の校長・副校長の先生方がたくさんいらっしゃいました。千鳥小学校の通学区域の方々のご協力もあり、その地域力が脈々と続いているのかなと思いました。非常に地域に密着した学校の良さですとか、そういったものが式典に出ていたかと思います。

私からの報告は、以上でございます。

何かご質問、ご意見がありましたら、よろしくお願ひいたします。

#### ○三留委員

今、教育長の報告がありましたけれども、私も、話のあった四つの行事等に参加させていただきました。

萩中小学校の研究発表を中心に話をさせていただきたいと思っております。

萩中小学校の研究テーマは、「理科の見方・考え方を働かせて、問題解決する児童の育成」となっていて、学習指導要領でも示されているところです。

授業を見て感じたのは、どのクラスも問題解決学習がきちんとできているといった印象を受けました。教育長からもお話がございましたけれども、サブテーマが「予想の充実を図る授業改善」ということで、予想の段階で、児童から様々な発想が出されていました。

主題に迫る手だての一つに、「既習内容や生活経験等の活用」がありますが、子どもたちから根拠に基づいた意見がきちんと出されていました。日頃から、こうした問題解決の学習をしっかりとしているのだろうと感じました。

さらに、子どもたちが、自ら実験計画も考えていきます。そして、検証、考察、結論を付ける課程が、実に丁寧なのですね。これは大変参考になります。

小学校の理科を専門とする教師が、脈々と積み上げてきたものを再構築して、作り上げた論理と実践だと感じました。

それから、ICTを意見共有、協働学習など、様々な学習場面で役立てていることも印象に残りました。

萩中小学校の理科研究は、理科を得意としない先生、経験の少ない先生にも見てほしいという校長先生の話がありましたが、理科の問題解決学習のあるべき姿を示したということで、大きな意義があると思っております。ぜひ各学校では、研究紀要や指導案を参考にして、日頃の理科学習の授業改善に役立ててほしいと思います。

あとの三つは、簡単に感想を述べたいと思います。

千鳥小学校の式典のことで、太鼓の話とか、いろいろ教育長からございましたけれども、

私も子どもの立派な参加の態度と発表の素晴らしさに感心しました。

学習指導要領の特別活動の儀式的行事に、「厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにする」というねらいがあるわけですがけれども、こうした式典に児童を参加させるという意義を改めて感じました。

それから、特別支援学級の連合運動会につきましては、午前中の小学校の部に参加しました。子どもたちが、30メートル走、色別リレーなど一生懸命取り組んでいたのが印象的でした。保護者の鑑賞マナーもとても良くて、子どもの規律もきちんとできており、先生方がしっかり指導しているのだなということを感じました。

最後に、休養村とうぶの視察に参加しましたがけれども、改めて、あの施設の良さを感じました。周辺環境を生かして、各学校では、効果的な移動教室を実施してほしいと思います。

それから、1泊、2泊という話がありましたけれども、1泊ですと、午後に着いて、もう次の日の午前中には出てしまうという、慌ただしい日程になってしまいます。コロナ禍のため、12人入る部屋を6人以下で入れているということもあって、なかなか難しいということなのですが、子どもたちにはぜひ2泊して、いろいろな体験をさせてあげたいなという感じがいたしました。

#### ○教育長

ほかにございますか。

#### ○弘瀬委員

私も、9月30日の特別支援学級の連合運動会に、午後の中学生の部から参加させていただきました。子どもたちが短距離走で手を高々と挙げて白いテープを切っていく姿は、いつ見ても嬉しくなります。

それから、ソーラン節では各学校のお母さん方、先生方が、いろいろ苦労して衣装も考え、当日は子どもが踊っている姿を一生懸命ビデオに収めたり、写真を撮ったりしている、そんな姿が微笑ましいなと思いました。

最後に、学校対抗リレーでは、途中で靴が脱げたお子さんもいましたけれども、最後まで頑張って走って、次のバトンをもらったお子さんが一生懸命一人でも抜かそうと頑張っている姿はとても印象的でした。

それから、10月17日、18日に、休養村とうぶに同行させていただきました。コロナ禍で1泊2日というのは子どもたちにとって、自然と触れ合う時間がとても少なくてかわいそうだなと思いました。ましてや行った日が雨だったりとか、次の日も雨だったりすると、どこにも行けずに施設の中で過ごすしかありません。そうすると、施設の中でいかに子どもたちを遊ばせるかというのも、きっと先生たちがいろいろ考えてのことだと思いますけれども、ぜひ有効に、与えられた時間を使っていただければと思っています。

また、三留委員がおっしゃったように、今回は1部屋に3人ずつぐらいしか子どもがいまませんでした。私たちの頃は、10人くらいで夜中に枕投げをするなど、そんなことをやっていたのが記憶に残っていて、それも楽しかった思い出の一つです。今回は少人数だったので、みんな静かに寝ていました。1日も早く、元気に遊ばせてあげられる日が来ると良

いなと思いました。

#### ○高橋委員

私も、弘瀬委員と一緒に特別支援学級の連合運動会で、中学生の部を観覧いたしました。3年ぶりということで、連合運動会が初めての生徒ばかりでしたが、保護者が2階から見守る中、各校ともまとまり良く、しっかりと取り組めていたと思います。

生徒代表の開会の言葉があったのですが、暗記をされていて、とても内容が分かりやすく、素晴らしい挨拶でした。

先ほども話があったように、ソーラン節は鳴子を使って5校ずつ行い、学校ごとの振付があつて、練習の成果を十分発揮した楽しい踊りでした。

10月17日、18日は、大森第五小学校の休養村とうぶの移動教室を視察いたしました。初日があいにくの雨なので、ナイトウォークは室内に変更となりましたけれども、昼間は体験学習で自分たちが好きなものを選んでやっていたようです。この宿泊の中で一番楽しいであろうというのは、お土産選びではないかなと思いますが、子どもたちが予算内でじっくり思い思いの品を選んでいたので印象的でした。

2日目は天気が良かったので農園に行くことができました。時間の都合で私たちはりんご狩りをしている姿を見ることができなかつたのですけれども、農園の方にしっかり対応していただけたと思います。

1泊の移動教室でしたので、内容の充実がとても重要だと思います。無理なく、楽しく過ごして、小学生の思い出として残るものになるようにご指導を願うとともに、次年度からは2泊の実施に向け、前向きに検討してほしいと考えます。

東御市長と東御市教育長との懇談は、短い時間でしたが、教育問題にも触れ、情報交換ができたことが良かったです。

あと、10月14日から20日まで池上会館で開催していた、小学校の図工作品展に行ってみました。凹凸を付けた墨絵に落款を押した作品があつて、自分の印も作ったのだなと感心して見ていました。

鏡の作品は、どのように映るかを考えながら製作に取り組んだと思われそうですが、とても素敵に出来上がっていました。

針金を使った作品は、上手に巻かれているなど、それぞれの個性が際立っていました。

どの作品も材料や工夫などがよく考えられていて、指導の成果が現れていたと感じました。

#### ○北内委員

私も出席させていただいた行事等について報告いたします。

9月30日午前中、特別支援学級の連合運動会の小学生の部に出席させていただきました。当日は晴天でしたが、教育長がおっしゃったように、大田区総合体育館は天候に左右されることがなく、良い場所だと思いました。

1～3年生は30メートル走、4～6年生はリレーで、白熱した競技が繰り広げられ、私も大変興奮しました。

その後、全学年によるリズム遊び「パプリカ」で汗を流しました。

児童にとっては初めての体育館での開催となるため、不安になる児童がいるかなと思ったのですが、そういうこともなく、運動会に集中できたようでした。指導、引率して下さった校長先生をはじめ、教職員の皆様に感謝申し上げます。

次に、10月17日から18日にかけて、休養村とうぶの行政視察に行かせていただきました。最初に行われた、東御市教育委員会との協議会においては、東御と大田の子どもたちにとって、良い連携ができる可能性をすごく感じました。

その後、大田区休養村とうぶの管理者たちとの協議会があり、移動教室の実施状況、児童のけがや病気、医務室の利用状況、感染状況、食事への対応、アレルギー対応、体験活動の実施状況、そして、現状の課題、コロナウイルス対策など、きめ細かく説明していただきました。保護者の中には、心配されている方もおられると思いますが、可能な限りきめ細かく対応して下さっていると感じました。

子どもたちは、親元・保護者を離れて、まったり、ゆっくり過ごしているような印象を受けました。

移動教室がコロナ禍前のように、5年生、6年生で2泊での実施ができることを切に望みます。

次に、10月22日、千鳥小学校の開校70周年記念式典に出席させていただきました。体育館での式典には、学校を代表して、高学年である5年生と6年生が出席しました。マスク越しでしたが、大きな声で合唱してくれました。

式典を通して、厳かな空気の中で、地域の皆さんが見守る中、合唱・合奏を発表することで、児童たちも成長できたと思います。良い思い出となるとともに、児童たちが、地域と共にあることを実感できたと思います。

式典に当たり準備して下さったPTA、地域の方々ならびに校長先生をはじめ、教職員の皆様に感謝申し上げます。

あと、PTAからお誘いを受けて、10月15日土曜日午後、新宿小学校の「おばけ屋敷」ならぬ「ハロウィン仮装屋敷」に呼んでいただきました。校長先生も仮装して下さって、子どもたちを笑わせるというイベントをやってくださいました。

その日の夜、東蒲小学校で花火大会を見させていただきました。校庭一面に打ち上げ花火を並べて順番に打っていくというイベントで、地域の方々のご理解・ご協力がないとできない行事だなと思いました。ありがとうございました。

## ○教育長

それでは、これもちまして、令和4年第10回の教育委員会定例会を閉会いたします。  
(午後2時25分閉会)



令和4年 第10回 教育委員会 定例会 10月24日(月) 午後2:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

副参事（法務担当）

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和4年10月24日

令和4年第10回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項